



## IT 革命から ET 革命へ

理事 陰下 尚典

20世紀は IT 革命の時代であったが、21世紀は ET 革命に移行の感がある。21世紀は原子力利用も取り組まれたが、危険度は完全には克服できず、使用済み燃料の処理問題で発電以外の利用が進まなかった。しかし、少なくともわが国に於いては発電における原子力の貢献度は非常に大きいし、原子力無しでは戦後の発展は見られなかったであろう。

一方で石油の開発が進み、自動車、航空機の開発、ミサイルへと進んだ。そして宇宙開発へと進み、東西の冷戦を終結へと導いた。また、産油国には空前の富をもたらした。

しかし、石油開発は排ガス問題を引き起こし、地球の温暖化が取り上げられるようになり、21世紀の ET 改革への路線が引かれた。石油開発は、重油の利用が問題になり、天然の液化ガスがクリーンな燃料として都市ガスとして使用されるようになり、工場でも次々と使用されつつある。都市を走るタクシーは殆どすべてが液化ガスを燃料として走るようになっている。しかし、石油開発の産物である安価な重油がトラックの燃料として用いられて、黒煙を撒き散らし、主要国道付近在住の住民に公害病を発生させた。我々の医療機関にも公害病認定の患者が訪れるようになった。

一方、小型の電池に革命が起こり、ニッカド電池の開発でいろいろなものが開発された。携帯電話、パソコン、掃除機、デジカメなど家庭用品にもずいぶん取り入れられた。しかし、ニッカド電池は、電圧にはよいが、電池の寿命が短く、リチウム電池の開発実用化と同時に次第に姿を消した。戦後憧れだったカメラはフィルムレスとなり、電子メディア・メモリーに置き換えられた。(これらは、水銀による環境汚染を軽減) 大型な発電は、太陽光の発電パネルが開発され、電気の供給に新しい体系が頭をもたげてきた。即ち、家庭の電気も太陽光パネルの改良が進んで利用する人が増えてきたし、余った電気の電力会社への販売も考えられるようになった。

しかし、昨今は太陽光発電パネルの原料であるシリコンに不足を来し、生産もままならぬ状態を招いてい

るらしい。

また、風力発電も見直され、地方に行くとき々風力発電用の羽が回っているのがみられる。しかし、太陽光発電も風力発電もまだ問題を残している。曇天続きや無風である。しかし、今後この方面は益々発展していくものと考えられる。

また、充電器を中心とした電気の節約利用や環境クリーン作戦の面では、自動車のハイブリッド化、電気自動車の開発が進められつつある。既に相当数のメーカーから発売予告が発表されている。

また、家庭では充電器の開発により余剰電気の一時的蓄積の方式が考えられるだろう。これらのことを勘案し、21世紀は ET 改革が進むものと考えている。

最後に、神戸医師協リネン部は昨年春より工場の排ガスのクリーン化を考えて重油ボイラーの天然ガスボイラー化を計画、国の補助に助けられて昨年秋より実働している。(総費用約1500万円、国庫補助約500万円) これは平成20年度のリネン部のヒットではないかと考えている。また、今後は ET 改革を念頭におきながら商品構成を考えるべきであろうと考えている。

(追記 各項目の開発年代、公害認定の開始年代などに関しては、もう少し詳細に記載する予定であったが、調査の時間が無かったので上記のような表現になったことをお詫びします。) (平成21年 4月23日)

### 第46回通常総代会 開催ご案内

神戸医師協同組合では第46回通常総代会を次の通り開催いたします。

<日時>平成21年6月4日(木) 午後3時より

<会場>クラウンプラザ神戸

(9階カモミールの間)

神戸市中央区北野町1-1

電話(078)291-1121(代)